

# JUS D.I.を用いた 医薬品情報の発信と活用について

大津赤十字病院 薬剤部  
木津 茂

# 施設概要

## 大津赤十字病院

急性～亜急性期

DPC

- 所在地：滋賀県 南部
- 病床数：824床
- 診療科：27科
  
- 院外処方箋率：79%
- 薬剤管理指導：960件/月
- 病棟薬剤業務：準備中
  
- 薬剤師：38名
- 時間外：薬剤師当直あり

## 大津赤十字病院 志賀病院

亜急性～慢性期

療養病床・地域包括

- 所在地：滋賀県 西部
- 病床数：150床
- 診療科：7科
  
- 院外処方箋率：98%
- 薬剤管理指導：70件/月
- 病棟薬剤業務：未実施
  
- 薬剤師：3名
- 時間外：オンコール体制

# 病院情報システム

- 電子カルテ : EGMAIN-GX V6 (富士通)
- DI検索 : JUS D.I. (日本ユースウェアシステム)
- 調剤 : Vp (トーショー)
- 病棟業務 : DI WORKS (トーショー)
- 薬品マスタ : 大津で一元管理



# アジェンダ

- 医薬品情報の発信
- 持参薬管理
- 薬品マスタ管理業務
- 今後の検討課題



# 医薬品情報の発信

# ① 第1報) JUS D.I.トップページに掲載

00:00 [薬事審議会] 第196回薬事審議会結果 管理者  
 2012/10/04  00:00 [医薬品情報] 安全性情報 / 効能・効果、用法・用量の変更 管理者  
 2012/09/26  00:00 [安全性情報] 医薬品・医療機器等安全性情報 No.294 (原文) 管理者  
**2012/09/25  00:00 [安全性情報] リーマス錠(炭酸リチウム)投与中の血中濃度測定遵守について(原文) 管理者**  
 2012/09/12  00:00 [医薬品情報] ランマーク皮下注120mgの安全性速報について 管理者  
**2012/09/11  00:00 [安全性情報] ランマーク皮下注による重篤な低カルシウム血症について 管理者**  
 2012/08/29  00:00 [安全性情報] 医薬品・医療機器等安全性情報 No.293 (原文) 管理者  
 00:00 [薬事審議会] 第195回薬事審議会結果 管理者

採用情報      安全性情報  
 効能効果・用法用量の変更      資料集

■ 医薬品医療機器総合機構 PMDA からの医薬品適正使用のお願い No.7 2012年9月  
<http://www.info.pmda.go.jp>

**PMDAからの医薬品適正使用のお願い**  
(独) 医薬品医療機器総合機構

No.7 2012年 9月

**炭酸リチウム投与中の血中濃度測定遵守について**

炭酸リチウムは躁病・躁状態の治療に汎用されている薬ですが、適正な血中濃度が保たれない場合、リチウム中毒に至る可能性があります。  
 医科・調剤及びDPCレセプトデータ<sup>1)</sup>を用いてPMDAで調査した結果、炭酸リチウムが処方された患者2309例のうち、1200例(52%)で血清リチウム濃度測定が一度も実施<sup>2)</sup>されていない可能性があります。  
 投与にあたっては、下記の事項にご留意下さい。  
1)株式会社日本医療データセンターより提供された2005年1月～2010年12月のデータ  
 2)特定薬剤治療管理料がデータ期間内に算定されている場合を測定実施と定義

**「用法・用量に関する使用上の注意」を遵守し、定期的に血清リチウム濃度を測定して下さい。**

投与初期又は用量を増量したとき      維持量の投与中 (維持量投与開始後の期間)

**維持量が決まるまでは 1週間に1回**をめぐりに血中濃度測定      **2~3か月に1回**をめぐりに血中濃度測定

**重要**  
 2012年9月  
 12-01号

**安全性速報**

**ランマーク®皮下注120mgによる重篤な低カルシウム血症について**

本剤発売の2012年4月17日から2012年8月31日までの間に、重篤な低カルシウム血症の副作用が32例報告されています。そのうち、死亡原因との関連が完全には否定できないとされた例が2例報告されています(発売以降の推定使用患者数約7,300人)。このような状況を考慮し、使用上の注意に「警告」を加えて注意喚起することに致しました。

- **投与前及び投与後頻回に血清カルシウムを測定してください**  
 本剤による治療開始前には、血清カルシウム等の電解質濃度を測定してください。血清補正カルシウム値<sup>1)</sup>を確認し、低カルシウム血症が認められた場合には、是正を行ってから開始してください。また、低カルシウム血症は、**治療開始後数日からあらわれる**ことがあります。本剤投与後は、頻回に血清カルシウム等の電解質濃度を測定するとともに、患者の状態に十分注意してください。
- **カルシウム及びビタミンDの経口補充のもとに本剤を投与してください**  
本剤による重篤な低カルシウム血症の発症を軽減するため、血清補正カルシウム値が正常範囲

# 重要な情報は 電子カルテのトップページからもリンク。

大津赤十字病院総合医療情報システム - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(I) ツール(T) ヘルプ(H)

---

**+**大津赤十字病院 **総合医療情報システム**  
OTSU RED-CROSS HOSPITAL

障害・トラブル発生時の連絡は医療情報課(内線:2311/2312またはPHS:601)へ

---

システム全般に関するお知らせ お知らせ一覧

- 【終了】院内全停電に伴う電子カルテ端末等の対応について 2012/11/15 10:00【医療情報課】
- 【連絡】検査項目の名称変更および精液検査基準値改正について 2012/9/27 8:40【検査部】
- 【連絡】骨塩測定装置DXA(PRODIGY)の説明について 2012/8/16 10:30【放射線部】
- 【連絡】診断書作成システムYahzee-MGレスポンス改善対応について 2012/7/20 11:15【医療情報課】
- 【連絡】外注検査一時受託中止項目の再開について 2012/7/19 14:30【検査部】
- 【連絡】骨塩測定装置更新に伴うオーダーの変更について 2012/7/18 11:00【放射線部】
- 【連絡】外注検査一時受託中止のお知らせ 2012/7/11 16:00【検査部】
- 【連絡】電子カルテ病名マスタバージョンアップについて 2012/7/10 13:30【診療録管理委員会、診療情報管理課】
- 【連絡】検査結果印字レイアウト変更のお知らせ 2012/7/10 9:15【医療安全推進室、医療情報課】
- 【連絡】DPC(入院時併存傷病名・入院後発症傷病名)の入力方法変更について 2012/6/12 10:30【医事課】
- 【終了】検査の一時停止について(お知らせ) 2012/6/11 13:00【検査部】

リンク更新状況 更新一覧

- 【連絡】「保険通信」発行のお知らせ 2012/9/27 16:40 【保険委員会】
- 【連絡】「保険通信」～DPC関連情報」更新のお知らせ 2012/9/26 16:10 【保険委員会】
- 【連絡】医局関連情報(9月分医局会)の更新について 2012/9/19 10:30 【総務課】
- 【安全性情報】ランマーク皮下注による重篤な低カルシウム血症について 2012/9/19 8:50 【薬剤部、医療安全推進室】
- 【連絡】「不良・不具合品発生届出書」が印刷できるようになりました(インテリホストシステムのリンク集より) 2012/9/19 8:50 【医療安全推進室、用度課】

---

電子カルテ関連	院内マニュアル	院内情報関連	部門システム
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用概念図</li> <li>・医療情報システム運用管理規程</li> <li>・アクセス方法</li> <li>・操作マニュアル(電子カルテ機能)</li> <li>・操作教育関連資料</li> <li>・カネカシステム</li> <li>・QIA操作マニュアル</li> <li>・SYNAPSEシステム</li> <li>・過去のシステムと電算機課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療システムマニュアル</li> <li>・個人情報の安全管理マニュアル</li> <li>・危機管理対応マニュアル</li> <li>・災害対策マニュアル</li> <li>・IT資産管理規程</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PHS連絡表(診療科・部署別)</li> <li>・PHS連絡表(50音順)</li> <li>・院内内線表</li> <li>・診療科目別担当医師一覧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インテリホスト</li> <li>・医薬品添付文書検索システム</li> </ul>
			各種申請フォーマット
			★電子カルテ通信★
			★保険通信★

重要

2012年9月  
12-01号

## 安全性速報

### ランマーク®皮下注120mgによる 重篤な低カルシウム血症について

本剤発売の2012年4月17日から2012年8月31日までの間に、重篤な低カルシウム血症の副作用が32例報告されています。そのうち、死亡原因との関連が完全には否定できないとされた例が2例報告されています(発売以降の推定使用患者数約7,300人)。このような状況を考慮し、使用上の注意に「警告」を加えて注意喚起することに致しました。

- **投与前及び投与後頻回に血清カルシウムを測定してください**  
本剤による治療開始前には、血清カルシウム等の電解質濃度を測定してください。血清補正カルシウム値\*を確認し、低カルシウム血症が認められた場合には、是正を行ってから開始してください。また、低カルシウム血症は、**治療開始後数日からあらわれる**ことがあります。本剤投与後は、頻回に血清カルシウム等の電解質濃度を測定するとともに、患者の状態に十分注意してください。
- **カルシウム及びビタミンDの経口補充のもとに本剤を投与してください**  
本剤による重篤な低カルシウム血症の発症を軽減するため、血清補正カルシウム値が正常

## ② DWHを用いて投与中患者を抽出

- 入院患者：担当薬剤師に院内メールで配信。
- 外来患者：DI室で対応を検討。

The screenshot shows the 'ToDoList' application window. The main window has a title bar 'ToDoList 一覧' and a menu bar with '受信' and 'List設定'. Below the menu bar are buttons for 'カレンダー表示', '全件既読', '表示条件', '表示切替', '全件', '未読', and '既読'. A search bar contains '---利用中ToDo ---患者ToDo ---ワークフロー ---その他'. A '一括印刷' button is on the right. The main area is a table with columns: '確認', '送信', '緊急', '氏名', 'データ種別', '通知内容', '通知者', '通知日', and '設定日'. The table contains numerous rows of task entries. A pop-up window is overlaid on the bottom right, containing the text: '下記の患者様に安全性情報発出が投与されています。ご確認ください。' followed by test case information: 'テスト病棟 | 0009553061 | テスト薬剤07 [アトミン-0注]', 'テスト病棟 | 0009553089 | テスト薬剤09 [アトミン-0注]', and a '閉じる' button.

# ③ 紙ベースでの配布

## 医薬品情報 No.653

平成 25 年 11 月 12 日 薬品管理課

### I 医薬品、医療機器等安全性情報について

厚生労働省医薬食品局発行、医薬品・医療機器等安全性情報に掲載されました当院採用品目について、その概要を抜粋し、お知らせします。

(原文は、電子カルテ「医薬品添付文書検索システム (JUS D.I.)」に掲載しています。)

医薬品・医療機器等安全性情報(厚生労働省医薬食品局 No.306)

#### 1. 平成24年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応報告について

平成24年シーズン(平成24年10月から平成25年3月末まで)に報告されたインフルエンザワクチンの副反応報告状況(原本参照)が紹介され、平成25年6月に開催された合同検討会において、ワクチンの安全性において重大な懸念は認められないと評価されました。

医療機関においては、副反応報告基準に該当する副反応を診断した場合は、「定期の予防接種等による副反応の報告等の取扱いについて」(平成25年3月30日付け健発0330 第3号・薬食発0330 第1号厚生労働省健康局長・医薬食品局長通知)のとおり、因果関係が必ずしも明確でない場合であっても速やかな報告をお願いします。また、平成25年シーズンも引き続きアナフィラキシーの発生に関しては以下の点にご留意ください。

- ①接種後30分程度は、被接種者の状態を十分に観察すること
- ②アナフィラキシーと思われる症状が認められた場合には、適切な処置を行うこと
- ③接種後に異常が認められた場合には、速やかに医師に連絡し、診察を受けるよう被接種者・保護者の方に伝えること

# 緊急安全性情報 / 安全性速報 (自動配信)

ケアラム錠25mg - Windows Internet Explorer

http://

ケアラム錠25mg

2013/05 安全性速報(ブルーレタ二) 抗リウマチ剤 ケアラム錠25mg/コルベット錠25mg(イグラチモド)とワルファリンとの相互作用が疑われる重篤な出血について

2013年9月改訂 (第4版、投薬期間制限医薬品に関する情報削除)  
\*2013年5月改訂

抗リウマチ剤

**ケアラム<sup>®</sup>錠 25mg Careram<sup>®</sup>**  
(イグラチモド錠)

薬類、処方箋医薬品<sup>注)</sup>

日本標準商品分類番号	873999
承認番号	22400AMX00732000
薬価収載	2012年8月
販売開始	2012年9月
国際誕生	2012年6月

重要

2013年5月  
13-01号

## 安全性速報

抗リウマチ剤  
ケアラム<sup>®</sup>錠 25mg/コルベット<sup>®</sup>錠 25mg(イグラチモド)と  
ワルファリンとの相互作用が疑われる重篤な出血について

今般、イグラチモド(ケアラム錠及びコルベット錠、以下「本剤」とワルファリンとの相互作用が疑われる肺出血による死亡例が報告されました。

2012年9月12日の販売開始から2013年5月17日までの間に、本剤とワルファリンとの相互作用が疑われる出血又は血液凝固能検査値の異常変動(P<sub>T</sub>-INR増加)が9例(うち...

使用する。こと

を投与した症例で認められている。医療施設において、治療の経験をも

こと)

婦人  
生、早期胎児死亡が認められている。[「6.妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照])

られることがある

【使用上の注意】

1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)

- (1)授乳婦  
[「6.妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照]
- (2)肝障害又はその既往歴のある患者  
[肝障害を更に悪化又は再発させるおそれがある。]
- (3)消化性潰瘍の既往歴のある患者

3. 本剤の効果は、通常、投与開始後16週までに発現するので、16週までは継続投与し、効果を確認することが望ましい。

4. 本剤並びに疾患の特性を考慮して、治療にあたっては経過を十分に観察し、漫然と投与を継続しないこと。

# その他の情報（院内採用薬のみ手動登録）

スンベプラカプセル100mg - Windows Internet Explorer

http://

スンベプラカプセル100mg

安全性情報 No.327 > 使用上の注意の改訂

詳細情報を表示

※2015年10月改訂(第7版)  
※2015年9月改訂

貯 法：遮光・室温保存  
使用期限：18ヵ月(使用期限の年月は外箱に記載されています。)

日本標準商品分類番号  
8 7 6 2 5

承認番号	22600AMX00765000
薬価収載	2014年9月
販売開始	2014年9月
国際誕生	2014年7月
効能追加	2015年3月

ウイルス剤/HCV NS3/4Aプロテアーゼ阻害剤

## スンベプラ®カプセル100mg

Sunvepra® Capsules  
(アスナプレビルカプセル)

### 3 重要な副作用等に関する情報

平成27年9月15日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介します。

#### 1 アスナプレビル, ダクラタスビル塩酸塩

販売名(会社名)	アスナプレビル: スンベプラカプセル100mg (プリストル・マイヤーズ) ダクラタスビル塩酸塩: ダクルインザ錠60mg (プリストル・マイヤーズ)
薬効分類等	抗ウイルス剤
効能又は効果	セログループ1(ジェノタイプ1)のC型肝炎ウイルス又はC型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善

(使用上の注意(下線部追加改訂部分))

【副作用(重大な副作用)】  
血小板減少: 血小板減少があらわれることがあるので、定期的に血液検査を行うなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

(参 考) 直近約11ヶ月(販売開始～平成27年7月)の副作用報告であって、因果関係が否定できないもの。  
血小板減少関連症例 8例<sup>※</sup>(うち死亡0例)  
<sup>※</sup>ダクラタスビル塩酸塩及びアスナプレビルの併用療法との因果関係が否定できない症例企業が推計したおおよその推定使用患者数: 約39,500人(販売開始～平成27年6月)  
販売開始: 平成26年9月

十分に十分な知識・経験を持つ医師が臨床成績の内容を熟知した上で、投与の可否を判断すること。「その他の注意」、「臨床成績」の項参照)なお、インターフェロンを含む治療法のうち、他のプロテアーゼ阻害剤による既治療患者に対する投与経験はない。これらの患者に対しては、前治療の種類、前治療に対する反応性、耐性変異の有無、患者の忍容性等を考慮すること。

【用法及び用量】  
通常、成人にはアスナプレビルとして1回100mgを1日2回経口投与する。  
本剤はダクラタスビル塩酸塩と併用し、投与期間は24週間とする。

〈用法及び用量に関連する使用上の注意〉  
(1) 投与開始時は、本剤及びダクラタスビル塩酸塩を

# 手動登録（個別登録・一括登録）

ブラウザのアドレスバーには `http://` と表示されています。メニューには「ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)」があります。

**JUS D.I.**  
DrugInformationV5

利用者: 管理者 最終更新日: 2015/11/10 ログアウト

お知らせ 更新情報 INDEX検索 詳細検索 全文検索 持参薬管理/薬剤鑑別 マニュアル **管理ページ**

## JUS D.I.管理者メニュー

- 環境設定
- ユーザ管理
- 採用薬管理
  - 採用薬ファイル出力
  - 採用薬読み込み
  - 採用薬バックアップ
  - 採用薬登録解除
  - 削除採用薬一覧
  - 経過措置採用薬一覧
  - オプション読み込み
- 院内製剤管理
- アクセスログ
- バックアップ

管理者マニュアル

## オプション読み込み

■オプション種別: 適正使用情報

■入力コード形式: 販売名コード

■入力ファイル:  参照...

読み込み リセット

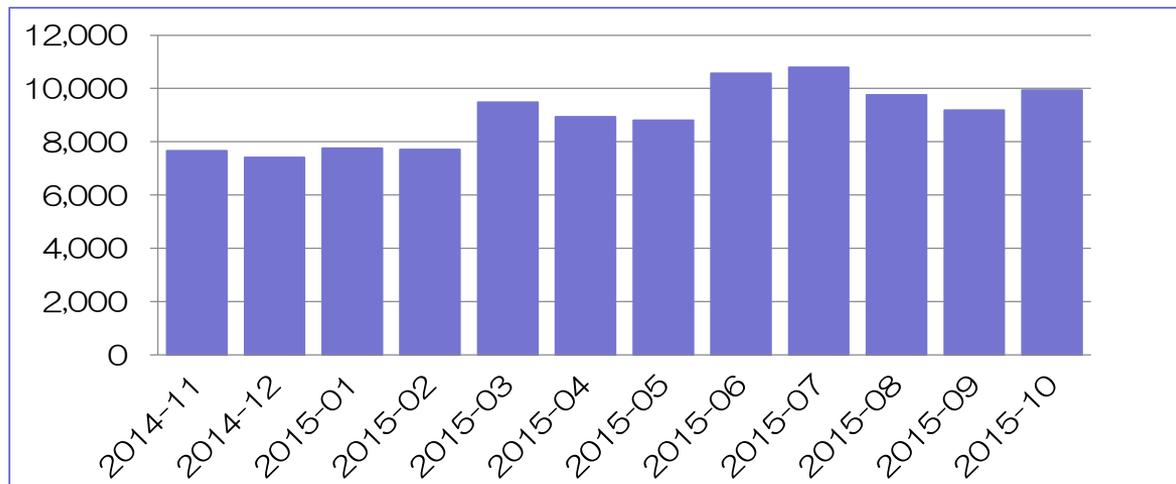
★01\_適正使用情報\_data.txt - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

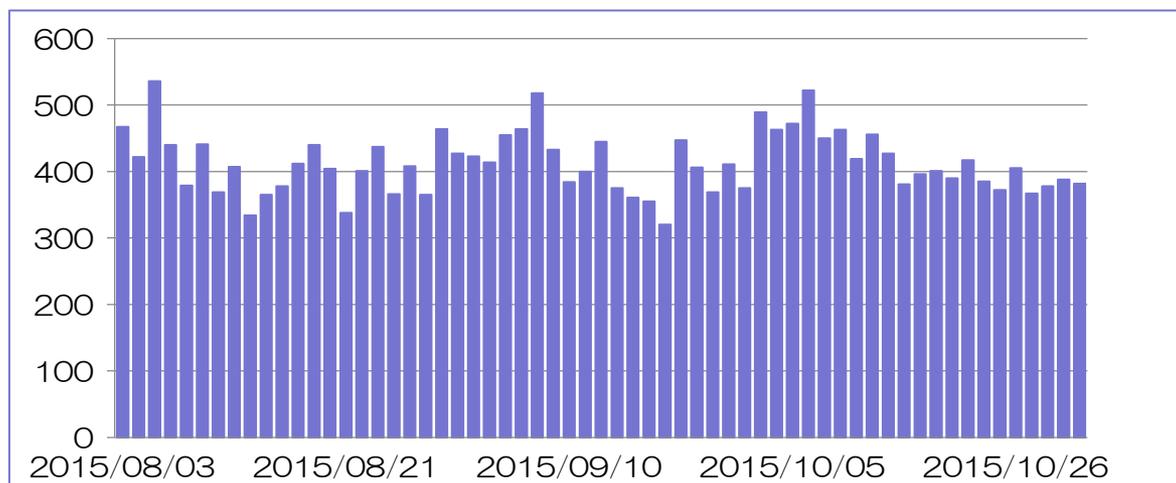
1161001F1050,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
3969018F2029,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
3999029M1037,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6149004C1030,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6149004F2024,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6149004R1024,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6149400D1021,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6250039M1027,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂
6250040F1020,	安全性情報	No.327	>	使用上の注意の改訂

# JUS D.I. の利用状況

## 月間ログイン数



## 日別ログイン数 (平日)



# 持参薬管理

# JUS D.I. 持参薬管理機能

ブラウザ画面: http://

メニュー: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

**JUS D.I.**  
DrugInformationV3

お知らせ 更新情報 INDEX検索 詳細検索 全文検索 **持参薬管理/薬剤差別** マニュアル 管理ページ

利用者: 管理者 最終更新日: 2015/11/04

検索条件

本体・包装コード: 301 [ ] 前方一致 色: 剤形: 錠剤 割線

会社名: 会社マーク参照 販売名: 検索 クリア

確定薬剤

本体コード	包装コード	剤形/割線/色	販売名	一般名	規格
DLF DLF-20	20DLF 20 20	錠剤 白	ラシックス錠20mg	フロセミド	20mg
AZネキシウム10	ネキシウム10ネキシウム10mg	硬力カプセル 灰名/薄黄	ネキシウムカプセル10mg	エソメプラゾールマグネシウム水和物	10mg(エソメプラゾールとして)

注意: 本体コード・包装コードのスペースは 改行またはスペース、コロンは 表裏を意味します。必ず添付文書等で内容をご確認下さい。剤形写真と表中の本体コード・包装コードは異なる場合があります。割線は割線模様を含みます。

候補薬剤

該当件数: 37件 [1]

本体コード	包装コード	剤形	割線	色	販売名	一般名
G 301	G 301 G 301 10mg	錠剤	無	白	アクディーム10	塩化リゾチーム
N	N301 81mg	錠剤	無	淡橙	アスファネート錠81mg	アスピリン, ダイアルミニウム
N	N301 81mg	錠剤	無	淡橙	アスファネート配合錠A81	アスピリン, ダイアルミニウム
JK 301	JK301 2.5mg:2.5mg	錠剤	無	白	アセナリン錠	シザプリド

## 持参薬管理表

No.201511070005

入院日	2015年11月07日	作成日	2015年11月07日	依頼印	作成印
患者ID	0009553061	作成者	テスト薬剤師		
診療科・病棟	循環器科	依頼者			
患者氏名	テスト薬剤 07				
患者生年月日	1961年11月07日				

### 1 医療用医薬品 (処方されていた薬剤)

No	画像	販売名 一般名 薬効名	当院採用		持参薬の用法						持込数量
			有無	候補代替薬	備考						
1		ラシックス錠20mg (サノフィ-日医工)	非採用	同一成分: フロセミド錠20mg 「NP」(利尿降圧剤) (本採用)	起床	朝	昼	夕	服用	単位	
		フロセミド		食後		1					
2		ネキシウムカプセル 20mg (アストラゼネカ-第一三)	本採用		起床	朝	昼	夕	服用	単位	
		エソメプラゾールマグネシウム水和物		食後		1					
3		フェロミア錠50mg (サンノーバ-エーザイ)	非採用	同一成分: クエン酸第一鉄Na 錠50mg「サワイ」 [同溶性の非イオン型鉄剤](本採用)	起床	朝	昼	夕	服用	単位	
		クエン酸第一鉄ナトリウム		食後		2					
4		プロマックD錠75 (ゼリア新薬工業)	非採用	同一成分: ボラブレジンOD錠75mg「サワイ」 [亜鉛含有胃潰瘍治療剤](本採用)	起床	朝	昼	夕	服用	単位	
		ボラブレジン		食後		1	1				

# 持参薬報告書の比較

## ① 医師の処方オーダーとの連携

電子カルテ標準機能 > JUS D.I.

## ② 薬品に関する情報量

電子カルテ標準機能 < JUS D.I.

## ③ 作成に要する時間（他施設からの持ち込み）

電子カルテ標準機能 > JUS D.I.

# 大津 ) 電子カルテ標準機能

入院 2-4 ID:0009553061      テスト ヤクザイ07      治療

循環器科 政府管本(20%)      テスト 薬剤07      78歳1ヶ月 B型 Rh(-) 180.0cm 80.000kg

木津 茂

【記録】 2015/11/07(土) 14:52      診療部 2-4  
01版: 2015/11/07(土) 14:52 薬剤師(木津 茂) 政府管本

○【持参薬報告】 2015/11/07(土)      診療部 2-4  
依頼 01版: 2015/11/07(土) 15:01 薬剤師(木津 茂) 政府管本  
NO42620037

患者ID : 0009553061  
患者氏名 : テスト 薬剤07  
生年月日 : 1936年11月11日  
診療科 : 循環器内科  
病棟 : 2-4 病棟  
入院日 : 2004/06/09

作成日 2015/11/07 指示日

確認者  
作成者 木津 茂  
署名欄

知方内容

Rp	持参薬内容 (薬品名・数量・用法)	持参薬の薬品名	数量	単位	用法	持込数量	採用	院内採用薬 (同一成分)	薬品コメント	用法コメント	備考
1	ラシックス錠20mg ...分1 朝- 食後	ラシックス錠20mg	1	錠	...分1 朝- 食後	10	錠	10日分	有	フロセミド錠【20mg】「NP」	
2	ネキシウムCap 20mg ...分1 朝- 食後	ネキシウムCap 20mg	1	CP	...分1 朝- 食後	10	CP	10日分	有	ネキシウムCap 20mg	
3	フェロミア錠 50mg ...分1 朝- 食後	フェロミア錠 50mg	2	錠	...分1 朝- 食後	20	錠	10日分	有	クエン酸第一鉄Na錠 50mg 「サワイ」	
4	プロマックD錠 75mg ...分2 朝- 食後	プロマックD錠 75mg	2	錠	...分2 朝- 食後	14	錠	7日分	有	ボラブレンジックOD錠 75mg 「サワイ」	
5	チアトнкаプセル10mg ...分3 毎食後	チアトнкаプセル10mg	3	CP	...分3 毎食後	42	CP	14日分	無		

<薬剤師コメント>      <医師コメント>

JUS D.I.は薬剤鑑別に使用。一包化による持ち込みでは、必要に応じて病棟薬剤師が「JUS D.I.報告書」を提供。

# 志賀) JUS D.I. + 文書作成機能

入院 2-4 ID:0009553061  
循環器科 政府管本(20%)  
未入院

テスト ヤクザイ07  
テスト 薬剤07 78歳11ヶ月 B型RH-

【記録】 2015/11/07(土) 15:02  
01版: 2015/11/07(土) 15:02 薬剤師)木津 茂 政府管本

○【持参薬鑑別表】 2015/11/07(土)  
依頼 01版: 2015/11/07(土) 15:21 薬剤師)木津 茂 政府管本 NO.42620118

文書名 持参薬鑑別表

### 持参薬管理表

大津赤十字病院

病棟	2-4病棟	作成日	平成27年11月07日
ID	0009553061	作成者	薬剤部 木津 茂
氏名	テスト 薬剤07 様		

#### 1 医療用医薬品 (処方されていた薬剤)

No	画像	販売名 一般名 薬効名	当院採用		持参薬の用法		持込数量
			有無	候補代替薬	備考		
1	 直径 6.0 mm 厚さ 2.0 mm	ラシックス錠20mg (サノファイ-日医工)	非採用	同一成分: フロセמיד錠20mg 「NP」(利尿降圧剤) (本採用)	起床 朝 昼 夕 服前 単位	食後 1	
		フロセמיד 利尿降圧剤			継続・中止・変更		
2	 全長 11.4 mm	ネキシウムカプセル 20mg (アストラゼネカ-第一三)	本採用		起床 朝 昼 夕 服前 単位	食後 1	
		エソメプラゾールマグネシウム水和物 プロトンポンプ・インヒビター			継続・中止・変更		
		フレロミア錠50mg	非採用	同一成分:	起床 朝 昼 夕 服前 単位		

カルテ記録は、PDFのスクリーンショットをWordに貼付。

# 薬品マスタ管理業務

電子カルテ

薬剤部

医事課

用度課

実施部門

大津

薬剤部

医薬品はすべて処方注射マスタ登録

コード発番とマスタ作成依頼

マスタ登録

マスタ登録

マスタ登録

連携テスト → 使用開始 (基幹システム連携確立)

処方注射オーダでの未使用薬は停止

他部門マスタ作成依頼

情報部門

処方注射マスタから  
他属性マスタを作成

マスタ登録

連携テスト → 使用開始

志賀

薬剤部

大津・処方注射マスタを志賀に複写

マスタ登録

連携テスト → 使用開始 (基幹システム連携確立)

他部門マスタ作成依頼

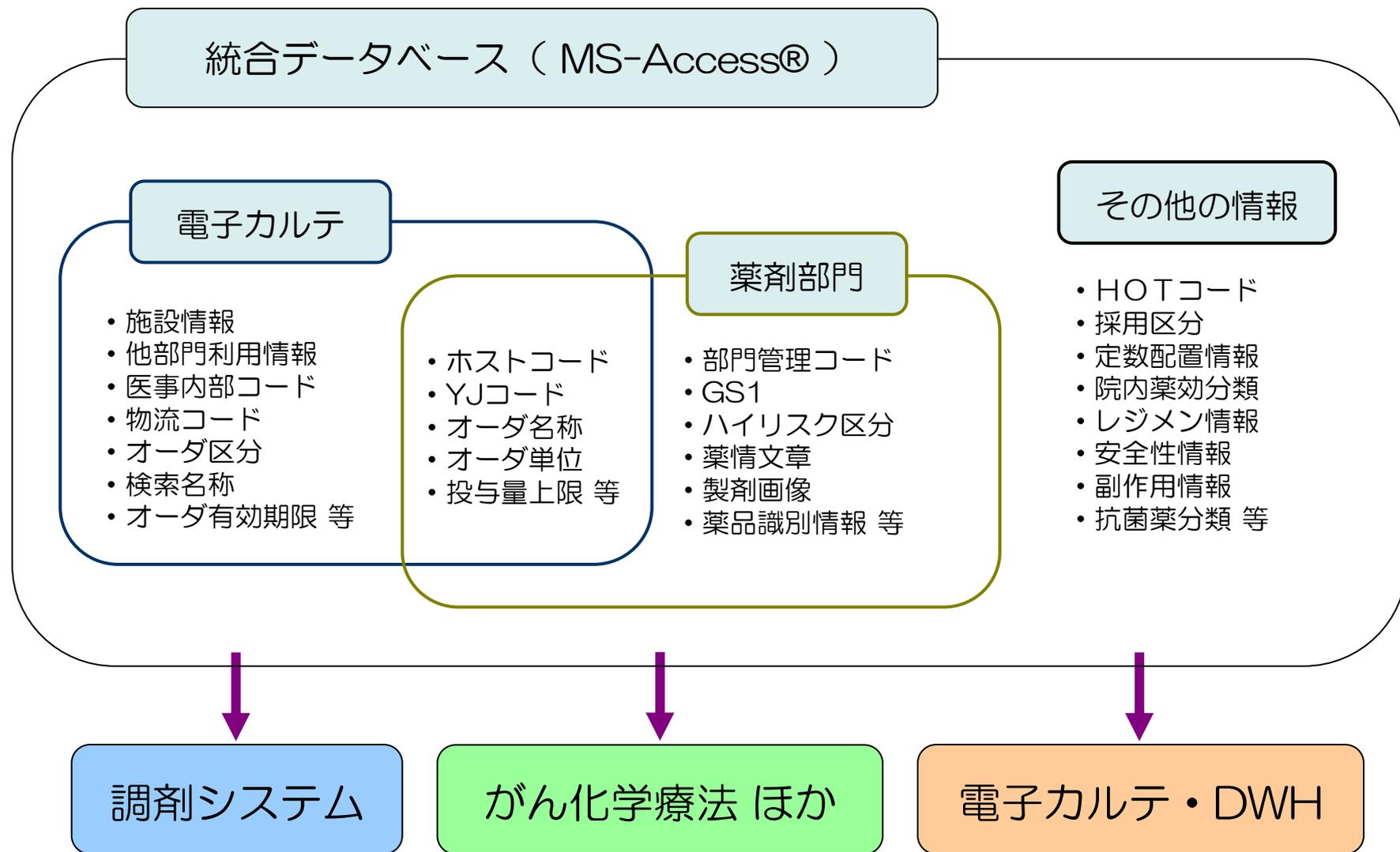
情報部門

処方注射マスタから  
他属性マスタを作成

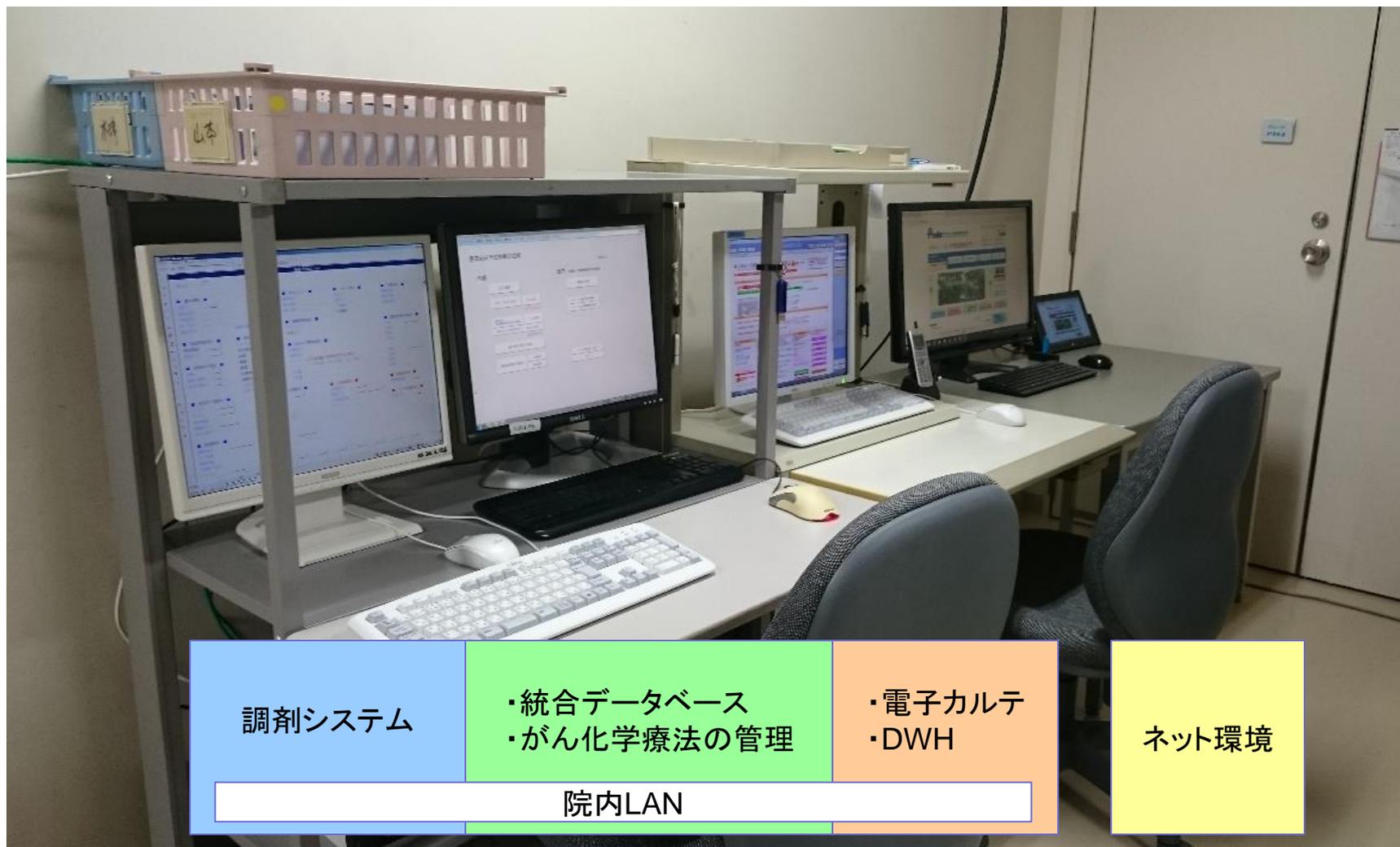
マスタ登録

連携テスト → 使用開始

# 統合データベースによる情報管理



# 管理環境（専任2名で対応）



# 薬剤情報の登録

The screenshot displays a web-based application for drug registration. The main window is titled '薬剤情報の登録' (Drug Information Registration) and contains several sections:

- 基本情報 (Basic Information):** Includes fields for '区分' (Classification) set to '臨時採用(大津/志賀)', '薬価' (Price), '薬価名' (Price Name) set to 'ファリー', and '規格' (Specification).
- 販売情報 (Sales Information):** Includes '販売' (Sales) dropdown, 'YJコード' (YJ Code), 'HOT9' (HOT9), and '流通予定' (Distribution Forecast).
- 剤型 (Formulation):** Includes '剤型' (Formulation) dropdown, '貯法' (Storage Method), and '毒劇' (Toxicity) dropdown with checkboxes for '遮光' (Light Protection), '調剤品 冷所指示' (Preparation Item Cold Storage Instruction), '向精神' (Psychotropic), '覚醒剤' (Stimulant), and '特生物' (Special Biological).
- 検索 (Search):** Includes '一般名検索' (General Name Search), '成分/成分量' (Ingredient/Amount), '実成分名' (Actual Ingredient Name), '通称名' (Common Name), and '半角商品名' (Half-width Product Name).

On the right side, a table displays drug information:

販売名	規格単位	販売会社
ファリーダックカプセル10mg	10mg1カプセル	ノバルティスP
ファリーダックカプセル15mg	15mg1カプセル	ノバルティスP

Below the table, a summary of the selected drug is shown:

- 販売名: ファリーダックカプセル10mg
- 規格単位: 10mg1カプセル
- 販売会社: ノバルティスP
- MEDIS\_HOT9: 124416801
- YJコード: 4291040M1023

A yellow box labeled 'MEDIS-DC' is positioned at the bottom left of the right-hand window. A 'Microsoft Access' dialog box is open, displaying the message 'カレントレコードを複写します。' (Copy current record) and an 'OK' button.

MEDIS-DCのWEBサイトから定期的に薬剤情報をダウンロード。

# 管理コードによる外部データベース連携

The screenshot displays a web-based application for drug registration. The main window shows the registration details for 'Farydak Capsules 10mg', including its classification as a 'Temporary Adoption (Daijū / Shikaku)' drug. A red circle highlights the '臨時採用(大津/志賀)' classification and the '薬審' (Drug Review) status. Below this, there are fields for '薬価名' (Drug Name), '規格' (Specification), 'カルテ名' (Chart Name), '販売' (Distribution), 'YJコード' (YJ Code), 'HOT9' (HOT9), and '流通予定' (Distribution Forecast). A '添付文書' (Attachment) button is visible.

Overlaid on the main window are several smaller windows:

- JUS D.I. インタビューフォーム (Interview Form):** This window displays the '医薬品インタビューフォーム' (Drug Interview Form) for 'Farydak Capsules 10mg' and 'Farydak Capsules 15mg'. It includes a table with columns for '期' (Period) and '区分' (Category), and a detailed description of the drug's efficacy and safety.
- JUS D.I. 添付文書 (Attachment Document):** This window shows a document titled '警告' (Warning) and '11 効能又は効果/用法又は用量' (11 Efficacy/Effect/Indication and Dosage/Usage). It contains detailed text regarding the drug's use, including warnings and instructions for use.
- 診療報酬情報 (Medical Reimbursement Information):** This window shows a table with columns for '商品名(規格)' (Product Name (Specification)), '薬価DB(規格)' (Drug Price DB (Specification)), 'レセ電算コード' (Reimbursement Code), '商品名等関連' (Product Name Related), and '薬価DB(更新日)' (Drug Price DB (Update Date)).

# 他部門の管理コード取得

The screenshot displays a medical database application interface. The main window shows the entry for 'ファリーダックカプセル10mg 10mg' (Faridac Capsule 10mg 10mg) with various fields for registration date, classification, and sales information. Two pop-up windows are overlaid on the main interface:

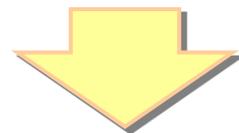
- 医事システム (Medical System):** A window titled '医事コード検索' (Medical Code Search) showing a table with columns for medical name, unit, code, management number, and calculation code. The data row shows 'ファリーダックカプセル10mg', 'CP', '89730', '2176786', and '622441601'. Below the table, there are input fields for '医事名称' (Medical Name), '医事単位' (Medical Unit), '管理番号' (Management Number), and '医事コード' (Medical Code), with a '展開' (Expand) button.
- 物流システム (Logistics System):** A window titled 'Q\_F\_PDSide' showing a table with columns for item code, medical code, item name, item specification, and JAN. The data row shows '11003367', '89730', 'ファリーダックカプセル10mg', 'H1 2CP1 箱', and '4987443366879'. Below the table, there are 'フィルターなし' (No Filter) and '検索' (Search) buttons.

Yellow callout boxes highlight the '医事システム' and '物流システム' windows.

- 手入力の減少による入力エラー防止
- 複数データベース参照による精度向上

# 「定期的な検査が必要な薬剤」の注意喚起

添付文書の「警告」から「重要な基本的注意」までの項目に、定期的、頻回、検査、測定などのキーワードを含む採用薬品を検索すると、933品目がヒット（-\_-;）



警告欄に記載されている102品目に、下記の項目を追加した120品目をアラート対象。

- 「医薬品副作用被害救済制度」の適用が認められなかった医薬品
- 「医薬品安全管理者が留意すべき点について」（日病薬会誌 第51巻2号）に掲載されている医薬品
- 製薬企業から適正使用情報として、注意喚起されている医薬品
- その他の注意が必要と思われる医薬品

# 病棟業務システムでのアラート表示

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

★ お気に入り ※ 0009553061 - カレンダーバック

DI-WORKS / カレンダーバック

患者ID: 0009553061 患者名: テスト 薬剤 07 様 性別: 男 生年月日: 19

基礎情報 現病歴・既往歴 指導担当割当 薬情発行情況 経過記録 退院指導 カレンダー

表示基準日: 2015/08/13 表示形式: 処方歴(オーダー順) 表示日数: 21日

2015/08/10 ~ 2015/08/30 (21日間)の期間を表示しています。 印刷用表示 薬情作成

ch	Rp.	薬	薬剤名
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【0.5mg】
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【1.0mg】
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【2.5mg】
● 院内 外来 41776529 内 システム検証用			
<input type="checkbox"/>	1		AM <sup>®</sup> 類似物質外用スプレー0.3%
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【0.5mg】
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【1.0mg】
<input type="checkbox"/>	2	C	アデムバス錠【2.5mg】
<input type="checkbox"/>	2	薬	トラクラリア錠 62.5mg
<input type="checkbox"/>	2	薬	レミッチCap 2.5μg
<input type="checkbox"/>	2	薬	アボルブCap 0.5mg
<input type="checkbox"/>	2	C	イトラコナゾール錠 5.0mg
<input type="checkbox"/>	2	C	フラボキサート塩酸塩錠 200mg
<input type="checkbox"/>	2	薬	プログラフCap【1mg】
● 院内 救急 41935139 内 木津 茂			
<input type="checkbox"/>	1		【1号】YDソリタ- T 1号錠
<input type="checkbox"/>	1		【3号】YDソリタ- T 3号錠

安全性情報

安全性情報を表示します。

薬品名 トラクラリア錠 62.5mg (Yコード 2190026)

添付文書情報

通知日: 2012/04/01

掲載号:

項目名: 定期的な検査が必要な薬剤

トラクラリア錠62.5mg - Windows Internet Explorer

トラクラリア錠62.5mg

作成又は改訂年月 (版数) 作成又は改訂年月  
\*\*2015年8月改訂(第6版) \*\*2013年11月改訂

警告

本剤投与により肝機能障害が発現するため、肝機能検査を必ず投与前に行い、投与中においても、少なくとも1ヵ月に1回実施すること。なお投与開始3ヵ月間は2週に1回の検査が望ましい。肝機能検査値の異常が認められた場合はその程度及び臨床症状に応じて、用量及び投与中止など適切な処置をとること。  
〔用法・用量〕に関する使用上の注意の項参照

禁忌

- 1 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人〔妊婦、産婦、授乳婦等への投与〕の項参照
- 2 中等度あるいは重度の肝障害のある患者〔肝障害を悪化させるおそれがある〕
- 3 シクロスポリン又はタクロリムスを投与中の患者〔相互作用〕の項参照
- 4 クリベンクラミドを投与中の患者〔相互作用〕の項参照
- 5 本剤及び本剤の成分に過敏症の既往歴のある患者

効能又は効果  
効能又は効果/用法及び用量  
肺動脈性肺高血圧症(WHO機能分類クラスI、II及びIII)  
\*\*全身性強皮症における手指腫脹の発症抑制(ただし手指腫脹を現在有している、または手指腫脹の既往歴のある場合に限る)  
効能又は効果に関連する使用上の注意  
\*\*肺動脈性肺高血圧症  
原発性肺高血圧症及び膠原病に伴う肺高血圧以外の肺動脈性肺高血圧症における有効性・安全性は確立していない。  
\*\*全身性強皮症における手指腫脹の発症抑制  
既存の手指腫脹に対する有効性は認められていない。  
用法及び用量  
通常、成人は、投与開始から4週間後、ポセンタとして1回62.5mgを1日2回朝夕食後に経口投与する。投与5週目から、ポセンタとして1回125mgを1日2回朝夕食後に経口投与する。

(添付文書: 2015年08月)

\*\*\*\*\*

本剤の投与中は定期的な検査が必要となります。

\*\*\*\*\*

トラクラリア錠62.5mg

★ 添付文書の下記項目を参照してください。

[ 警告 ] [ 重要な基本的注意 ]

閉じる

# マスタ情報のメンテナンス（情報更新時）



**JUS D.1**  
Drug Information V5

お知らせ **更新情報** INDEX検索 詳細検索 全文検索

検索範囲

採用薬

採本採用  患者限定

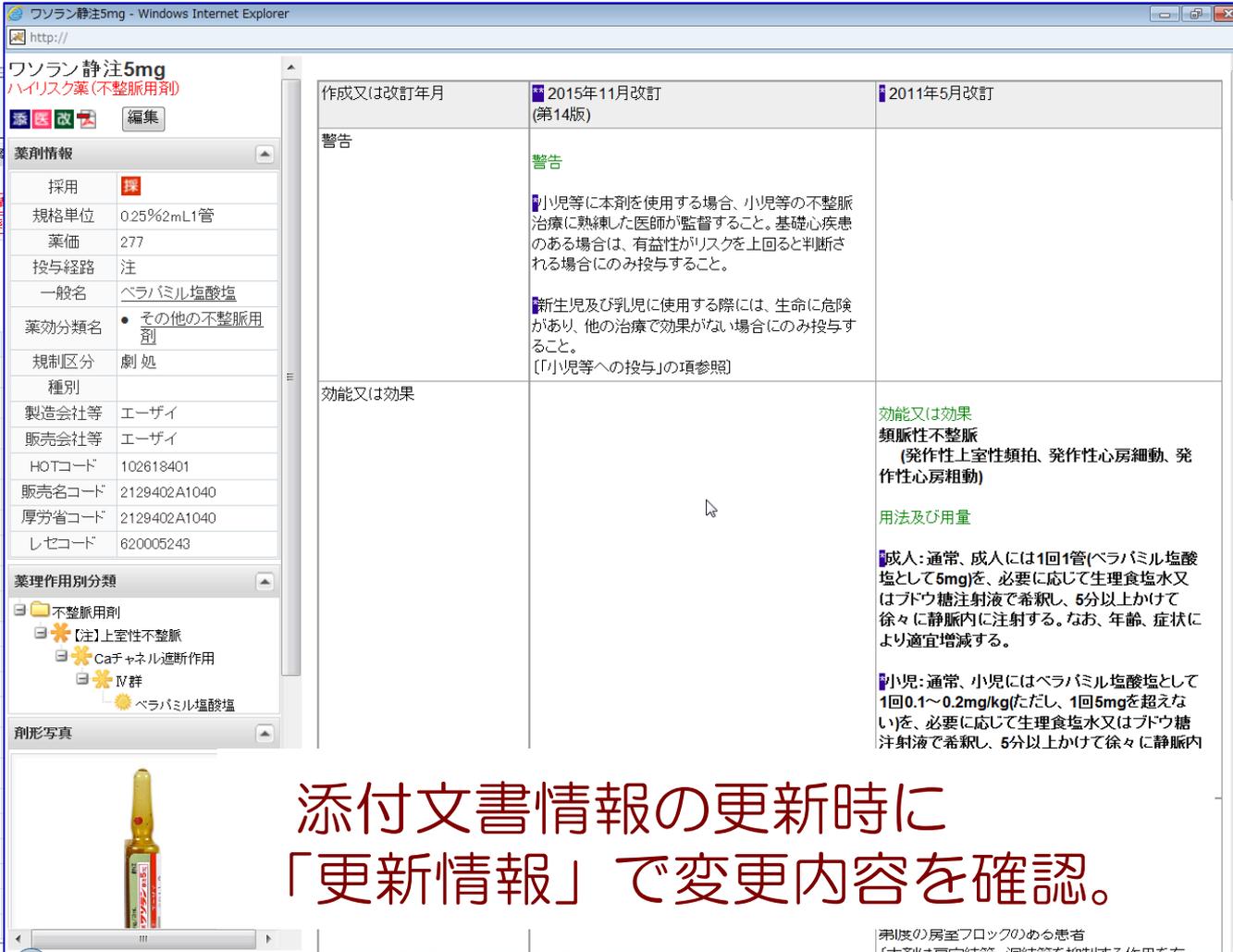
1日以内 1週間以内 1ヶ月以内 **表示**

アラート対象項目が更新された薬剤のみ表示

ファイル出力

2015/11/04 更新

更新	採	添	改	取	販	社	名	販	社	等	投
新規					ア	ノ	ア	ノ	ノ	注	
新規					ア	ノ	ア	ノ	ノ	注	
新規					ヴ	ノ	ヴ	ノ	ノ	内	
新規					エ	マ	エ	マ	ノ	注	
新規					エ	マ	エ	マ	ノ	内	
新規					ガ	ア	ガ	ア	ノ	内	
新規					デュ	マ	デュ	マ	ノ	内	
新規					リ	エ	リ	エ	ノ	内	
新規					レ	ノ	レ	ノ	ノ	内	
更新					ア	大	ア	大	ノ	内	
更新					ア	大	ア	大	ノ	内	
更新					ア	大	ア	大	ノ	注	
更新					ア	マ	ア	マ	ノ	内	
更新					ス	メ	ス	メ	ノ	注	
更新					フ	大	フ	大	ノ	内	
更新					リ	大	リ	大	ノ	内	
更新					リ	科	リ	科	ノ	内	
更新					レ	ヤ	レ	ヤ	ノ	内	
更新					レ	ヤ	レ	ヤ	ノ	内	
更新					ワ	エ	ワ	エ	ノ	内	
更新					ワ	エ	ワ	エ	ノ	注	



ワラン静注5mg  
ハイリスク薬（不整脈用剤）

作成又は改訂年月: 2015年11月改訂 (第14版) | 2011年5月改訂

警告: 小児等に本剤を使用する場合、小児等の不整脈治療に熟練した医師が監督すること。基礎心疾患のある場合は、有益性がリスクを上回ると判断される場合にのみ投与すること。 新生児及び乳児に使用する際には、生命に危険があり、他の治療で効果が無い場合にのみ投与すること。 [「小児等への投与」の項参照]

効能又は効果: 頻脈性不整脈 (発作性上室性頻拍、発作性心房細動、発作性心房粗動) 用法及び用量 成人: 通常、成人には1回1管(ベラバミル塩酸塩として5mg)を、必要に応じて生理食塩水又はブドウ糖注射液で希釈し、5分以上かけて徐々に静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。 小児: 通常、小児にはベラバミル塩酸塩として1回0.1~0.2mg/kg(ただし、1回5mgを超えない)を、必要に応じて生理食塩水又はブドウ糖注射液で希釈し、5分以上かけて徐々に静脈内

添付文書情報の更新時に「更新情報」で変更内容を確認。

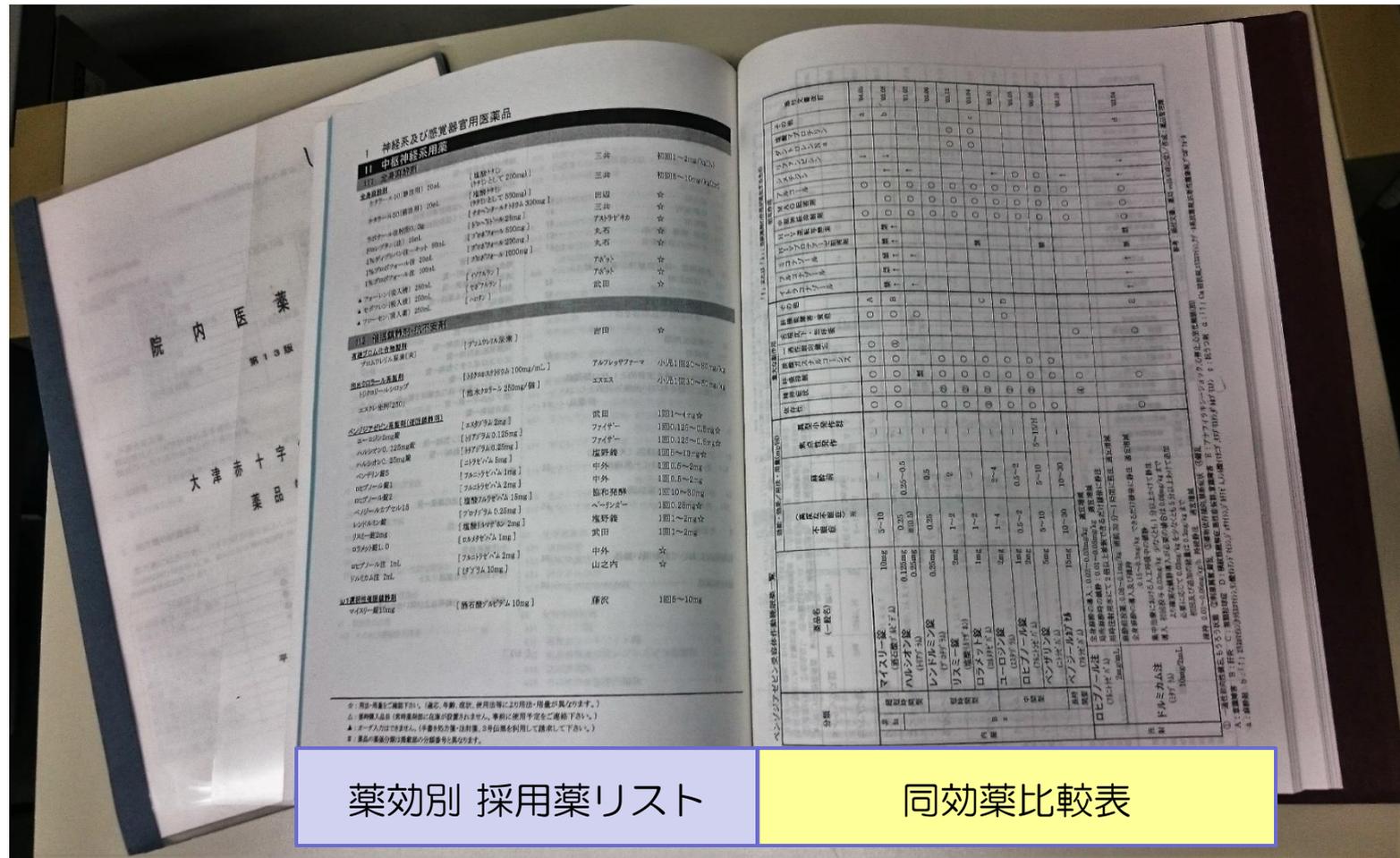
# マスタ情報のメンテナンス（月1回）

YJ	販売名	警告	効能	使用上の注意	重要な基本的注意	改訂年月	F_警告	F_効能	F_注意1	F_注意2
1179042C1031	クエチアピン細粒50%「EE」	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症通常、成人にはクエチアピンとして1回25mg、1日2又は3		1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2014年12月	○			○
1179042F1054	クエチアピン錠25mg「EE」	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症通常、成人にはクエチアピンとして1回25mg、1日2又は3		1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2014年12月	○			○
1179042F2050	クエチアピン錠100mg「EE」	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症通常、成人にはクエチアピンとして1回25mg、1日2又は3		1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2014年12月	○			○
1179043F2047	ペロスピロン塩酸塩錠8mg「アメル」		統合失調症通常、ペロスピロン塩酸塩として成人1回4mg1日3回より始		1悪性症候群（Syndrome malin）の発現に伴い、CK（CPK）が上	2011年07月				○
1179044C1022	ジブレキサ細粒1%	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善統合失	双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善の場合躁症状及びうつ	1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2013年03月	○			○
1179044F2025	ジブレキサ錠5mg	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善統合失	双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善の場合躁症状及びうつ	1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2013年03月	○			○
1179044F3021	ジブレキサ錠10mg	1.著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏	統合失調症双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善統合失	双極性障害における躁症状及びうつ症状の改善の場合躁症状及びうつ	1本剤の投与により、著しい血糖値の上昇から、糖尿病性ケトアシ	2013年03月	○			○
1179045F1023	エビリファイ錠3mg	1.糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の死亡に至ることもある	●統合失調症●双極性障害における躁症状の改善※●うつ病●うつ	※●うつ病●うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合	1眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがある	2015年05月	○			○
1179045F3026	エビリファイ錠12mg	1.糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡等の死亡に至ることもある	●統合失調症●双極性障害における躁症状の改善※●うつ病●うつ	※●うつ病●うつ状態（既存治療で十分な効果が認められない場合	1眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがある	2015年05月	○			○
1179046F1028	ジェイゾロフト錠25mg		**うつ病●うつ状態、パニック障害、外傷後ストレス障害1抗うつ剤の	1抗うつ剤の投与により、24歳以下の患者で、自殺念慮、自殺企図の	1うつ症状を呈する患者は希死念慮があり、自殺企図のおそれがある	2015年03月		○	○	
1179047F1022	モディオダール錠100mg		*下記疾患に伴う日中の過度の眠気・ナルコレプシー・持続陽圧呼		1眠気の程度によっては本剤の服用によっても覚醒レベルが正常に	2015年04月		○		○
1179048F2023	ロナゼン錠4mg		統合失調症通常、成人にはロナゼン錠として1回4mg、1日2回食後	1本剤の吸入は食事の影響を受けやすく、有効性及び安全性は食後投	1眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがある	2015年04月		○	○	○
1179049F1021	クロザリル錠25mg	1本剤の投与は、統合失調症の診断、治療に	治療抵抗性統合失調症本剤は、他の抗精神病	本剤は、他の抗精神病薬治療に抵抗性を示す	1本剤の投与にあたっては、無顆粒球症、心	2015年09月	○			○
1179049F2028	クロザリル錠100mg									
1179050M1023	ストラテラカプセル5m									
1179050M3026	ストラテラカプセル25									
1179052M1022	サインバルタカプセル									

CSV一括出力機能を利用。  
出力データから特定キーワードを含む  
添付文書を検索し、マスタ情報と比較。

# 今後の検討課題

# 従来の院内医薬品集



薬効別 採用薬リスト

同効薬比較表

# 資料集

JUS D.I. Drug Information V5  
利用者: 一般 最終更新日: 2015/08/28 ログアウト

お知らせ 更新情報 INDEX検索 詳細検索 全文検索 持参薬管理/薬剤鑑別 マニュアル

薬剤部からのお知らせ

すべての重要度 すべて分類 検索 リセット

該当件数: 218件 [123次の100件]

**重要なお知らせ**

- 2015/06/11 小児薬用量 / 調剤申し合わせ事項 / 副作用報告 / 後発品対比表 / 院内医薬品集PDF版 / 経過措置一覧
- 2015/08/25 [薬事審議会] 第210回薬事審議会結果 管理者
- 2015/08/06 [安全性情報] 医薬品・医療機器等安全性情報 No.325(原文) 管理者
- 2015/07/14 [医薬品情報] 安全性情報 / 効能・効果、用法・用量の変更 管理者
- 2015/07/07 [安全性情報] 医薬品・医療機器等安全性情報 No.324(原文) 管理者
- 2015/06/30 [薬事審議会] 第209回薬事審議会結果 管理者
- 2015/06/03 [医薬品情報] 安全性情報 / 効能・効果、用法・用量の変更 管理者

小児薬用量 / 調剤申し合わせ事項 / 副作用報告 / 後発品対比表 / 院内医薬品集PDF版 / 経過措置一覧

添付ファイル

1. 小児薬用量
2. 調剤申し合わせ事項
3. 副作用報告
4. 後発品対比表 01 内用・外用(01 先発→後発)
5. 後発品対比表 01 内用・外用(02 後発→先発)
6. 後発品対比表 02 注射(01 先発→後発)
7. 後発品対比表 02 注射(02 後発→先発)
8. 採用医薬品集(簡易版)
9. 採用医薬品集(詳細版)
10. 経過措置一覧

「お知らせ」にPDFリンク集を作成。

# 掲載内容の検討

- 比較表などの医薬品と1対1での対応付けができない情報
- 添付文書やIFに未記載の情報  
(薬剤師が病棟業務で利用可能な情報)
- 医薬品リスク管理計画の掲載 など

# まとめ

- クローズ環境でも最新情報の入手が可能。
- PDFによる違和感のない参照が可能。
- CSV出力による二次利用が容易。
- 他システムとの連携が容易。
- 施設で独自設定できるリンク参照は便利。